

平成 26 年 4 月 17 日
電源開発株式会社

松浦火力発電所 2 号機 低圧タービンロータ落下事故について

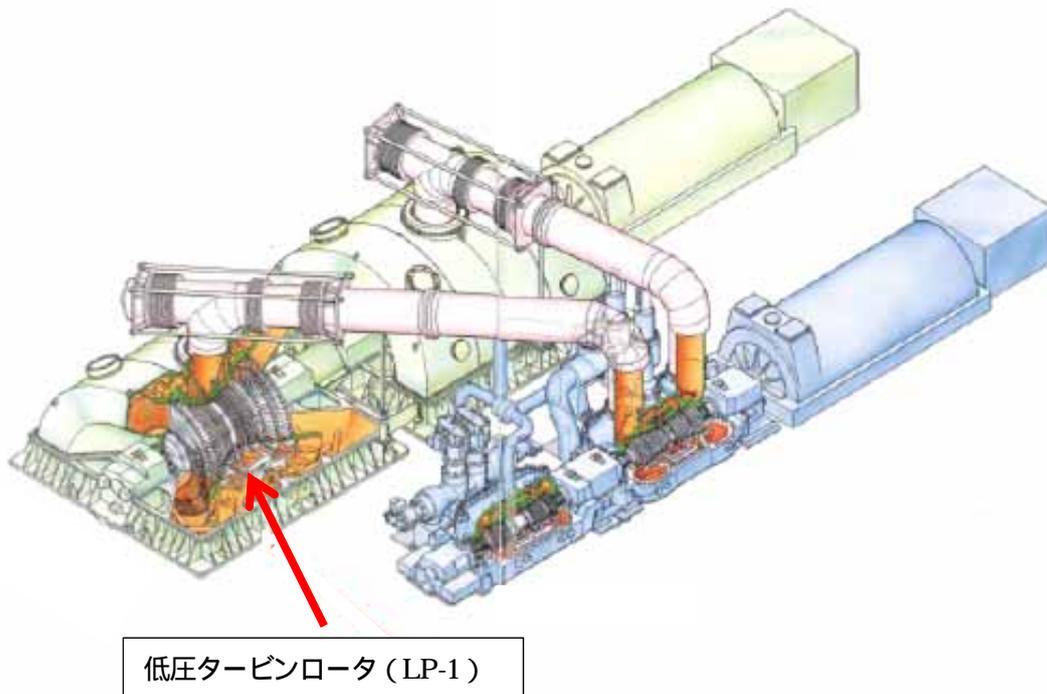
1. 事故発生時の状況

松浦火力発電所 2 号機定期点検 (H26.3.16 ~ 7.8 予定) における、蒸気タービン分解点検作業において、低圧タービンロータ (LP-1) の吊り下ろし作業中に低圧タービンロータが落下し損傷しました。

< 経緯 >

- 3 月 16 日 (日) 定期点検開始
- 3 月 27 日 (木) 低圧タービンロータ搬送作業開始
- 3 月 28 日 (金) 13:59 落下事故発生

【松浦火力発電所 2 号機 タービン・発電機 鳥瞰図】



2. 事故原因

吊り下ろし作業に使用したクレーン等の設備及び作業状況の調査を実施いたしましたが、これまでのところ原因の特定に至っておりません。

調査を継続するとともに専門家による検証及び事故メカニズムの解明を行い、原因特定を進めてまいります。

3. 復旧に向けた取組み

今夏の供給力としての早期発電再開を目指し、全社大で対策チームを編成し、以下の対策を同時並行で検討・実施しています。

(1) 低圧タービンロータの精密検査

損傷した低圧タービンロータは、4月10日に発電所から搬出し、4月13日から製作メーカー工場にて精密検査を実施しており、再使用の可否等を確認します(最終結果:H26.5末目途判明)。

(2) 定格出力による本復旧

現品補修 損傷した低圧タービンロータの精密検査と並行して、想定される取替部品を手配済です(実現可否及び発電再開時期:H26.5末目途判明)。

新規製作 現品補修による本復旧が困難な場合に備え、低圧タービンロータの新規製作を手配済です(復旧時期:H27.12目途)。

(3) 部分負荷による仮復旧

定格出力は出せないものの、本復旧を待たずに可能な限りの出力を確保する方策として、部分負荷による仮復旧についても検討を進めています(実現可否並びに発電可能出力及び発電再開時期:H26.5末目途判明)。

4. 復旧見込み

上記の取組みを進めてまいります。現時点において、復旧時期は未定です。

【損傷した低圧タービンロータ】



以上

< 松浦火力発電所の概要 >

所在地	長崎県松浦市志佐町	
	1号機	2号機
出力	100万kW	100万kW
着工	昭和61年3月	平成5年11月
営業運転開始	平成2年6月29日	平成9年7月4日
発電方式	二軸型横置回転界磁3相交流同期発電機	